

3年ぶり JICA 海外協力隊 県庁・市役所表敬訪問再開

宮城県から1名がモザンビークへ出発、1名がカンボジアから帰国

国際協力機構（JICA）は、現地の人々と共に生活しながら活動するという理念の下、新型コロナウイルス感染拡大の影響で見合わせていた JICA 海外協力隊の派遣を再開しています。昨年と一昨年は、コロナ禍を考慮し書面報告のみ行ってきましたが、約3年ぶりに宮城県庁及び仙台市役所へ対面での表敬訪問を行います。

2022年7月に宮城県出身の JICA 海外協力隊1名がモザンビーク共和国へ出発します。日本で培った手工芸の経験を活かし、斬新なデザインや売れる商品開発など、現地の若者とともに活動します。

また、2021年に宮城県よりカンボジアに派遣され、看護師として活動していた1名の隊員が2022年6月に帰国しています。

取材・報道、個別インタビュー等をぜひご検討ください。

表敬する JICA 海外協力隊（出発隊員1名、帰国隊員1名）の派遣国、職種、活動内容などは裏面をご参照ください。

《表敬訪問日程（実施日程順）》

（敬称略）

表敬先	日時・場所	表敬者
宮城県 副知事 遠藤 信哉	7月13日（水）11:00-11:20 宮城県庁4階 庁議室	大道寺 玲子（出発表敬） 高松 優実（帰国表敬）
仙台市 市長 郡 和子	7月14日（木）16:00-16:20 仙台市役所本庁舎3階 特別応接室	大道寺 玲子（出発表敬） 高松 優実（帰国表敬）

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 市民参加協力課（担当：小林）
TEL：022-223-4772 FAX：022-227-3090
E-Mail：jicathic-jv@jica.go.jp

※このプレスリリースは、宮城県庁記者クラブ、仙台市役所記者クラブで配布しています。

宮城県より出発、宮城県に帰国する隊員の派遣国、職種等は以下の通りです。

■ JICA 海外協力隊 括弧内は、ふりがな・表敬時点での年齢・出身地

【出発隊員】

大道寺 玲子さん（だいどうじ れいこ、66歳、仙台市出身）

派遣国:モザンビーク共和国 職種:手工芸 配属先:モザール青年育成センター

長年、婦人服の縫製やリフォーム、手芸品の制作で生計を立ててきたので、今までの経験や知識を活かして何か社会の役に立つことがあれば参加したいと考えていました。自分の持っている技術や知識、経験などをモザンビークの人々に伝え、それが生活の向上につながればと思います。

【帰国隊員】

高松 優実さん（たかまつ ゆうみ、30歳、仙台市出身）

派遣国:カンボジア 職種:看護師 配属先:クラチェ州病院

カンボジアの地方にある公立病院で看護師スタッフとともに患者ファーストの医療の提供を目指し活動を実施しました。相互扶助、相互理解について日々考えさせられる活動でありました。今後も外国人に対しても適切な医療をスムーズに提供できる日本の医療体制づくりに関わっていきたいと考えています。

以上